

# 奥会津だより



## 垣用の細木の採取

木々が芽吹いたばかりの見晴らしの良い里山で  
ササギやキュウリなどのツルをからませる細木を伐り出す  
地元ではこの細木で組んだ垣を「カルイ」と呼ぶ  
農作業のはじまりだ

# 祖父からの聞き書き

岩佐 拓海★柳津町立柳津中学校 一年



これは、昭和二十二年四月、西山小学校の祖父の入学式の写真です。当時の西山小学校は、大沼郡西山村立西山小学校でしたが昭和三十年に河沼郡柳津町立西山小学校に変わりました。西山小学校本校には、小野川原、青中、黒沢、砂子原、五疊敷、湯八木沢、牧沢の地区の子供たちが通学していたそうです。その中で、牧沢の子供たちは、六キロメートルの長い距離を歩いていたので、冬は季節分校で勉強したそうです。その他に琵琶首、大成沢、高森、四ツ谷地区は、分校があり、

久保田地区は本校として久保田小学校に通っていました。祖父は家から学校まで近い距離だったので、遠くから通っている友達は大変だったと聞きました。祖父が小学校入学の頃は、着物やもんぺ姿、わらぞうりをはいていたそうです。もちろんテレビやガスも無いので囲炉裏を囲み、食べ物も朝ご飯は、かまんま(大根の葉をゆでて細かく切つてご飯に混ぜた物)を食べたり、豆ご飯や芋ご飯を食べていました。夕ご飯は、そば団子を作り、その中に、かぼちゃやじゃが芋、小豆などを煮て団子の中に入れて食べていたそうです。今は、道路も良くなり、子供たちはバスで通学できるようになって、食べ物も車ですぐ買物に出かけられ、昔に比べると本当に裕福になり、好きな物も食べられて、今の子供たちは幸せだと祖父が昔のことを思い出しながら話していました。

僕は祖父に、昔はランドセルとかはあったの？と聞いたら、昔はふるしきを使っていたと言っていて、僕は、今より昔は不便だということが分かりました。

## 取材ノート

### 祖父からの聞き書き

Q..昔の写真を見ながら孫に話をしてみてもうでしたか？

忠志さん..昔のこと、小学校入学してからどうやって暮らしてきたか、食べ物はどうだったかなんて、オレがしゃべったこと書いてくれたな。

Q..昭和22年小学校入学式の写真、戦争直後で大変な時だったのではないですか？

忠志さん..そうそう、大変だったあ、食べ物から履物から。だからこういう格好だったんだ。4月だったからみんな長靴だったんだな。羽織着ていたり上だけセーラー服着ていたり、綿入れやら。みんな違った。ひどかったなあ。

〔写真を見ながら〕

この人は兼子校長、兄弟や息子さんが先生やつていた。息子さんが湯川だから、湯川の人がなあ。

Q..右端の若い女性の方は？

忠志さん..それはオラ達の先生、實田先生。27歳ぐらいだったかな。

Q..入学した1年生は何人でしたか？

忠志さん..45、6人かな。

Q..冬の通学は大変だったでしょう、秋山さんは学校が目の前で良かったですね。

忠志さん..そうだ、ほんと良かった。



祖父 秋山 忠志 さん  
(昭和16年5月2日生 72歳)

孫 岩佐 拓海 さん  
(平成11年12月17日生 13歳)  
(柳津中学校 2年)

Q..拓海君たちはどんな遊びをしていますか？

拓海君..昼休みは体育館でバスケットや、外でテニスやったり、家に帰ってからはお菓子食べたり自転車遊んだりとか。たまに、山に登って景色を眺めに行きます。

Q..通学で使っていた「ふるしき」の身中は？

忠志さん..帳面と鉛筆と教科書だけ、今の子どもたちみたいにいっぱい無い。5年生の頃ボールペンとか出てきた。

Q..拓海君、じいちゃんが今の子は幸せだな、と言っていますか？

拓海君..幸せかもしれません。でも、テレビの無い子ども時代を過ごして、テレビがやってくる、テレビを見られるというワクワクするような気持ち僕達は体験できないので、じいちゃんたちがうらやましいようにも思えます。

※都会と同じような中学校生活かと思つたら、友達と山に行つて景色を眺める、という話を聞いて救われるような気持ちになりました。

(写真/文責:菅 敬造)

## 奥会津 聞き書き百選 募集要項

一枚の写真をもとに、家族や身近な方々から話を聞き、文字に記録した原稿を募集します。

■テーマ 困難を乗り越えた話

■募集規定

- ・原稿用紙1枚～3枚程度(住所・氏名・ふりがなを記入してください)
- ・写真のコピーもしくはデジタルデータを添付してください。
- ・原稿は返却いたしません。
- ・応募〆切:平成25年9月30日消印有効
- ・応募は無料です。
- ・奥会津在住もしくはご出身の方に限り応募できます。

※応募作品の一部は『奥会津 聞き書き百選』として出版されます。(一般書店での販売はありません)

●主催:只見川電源流域振興協議会

●応募先:

奥会津書房  
〒969-7511  
福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979  
Tel:0241-52-3580

## 奥会津の食材と料理

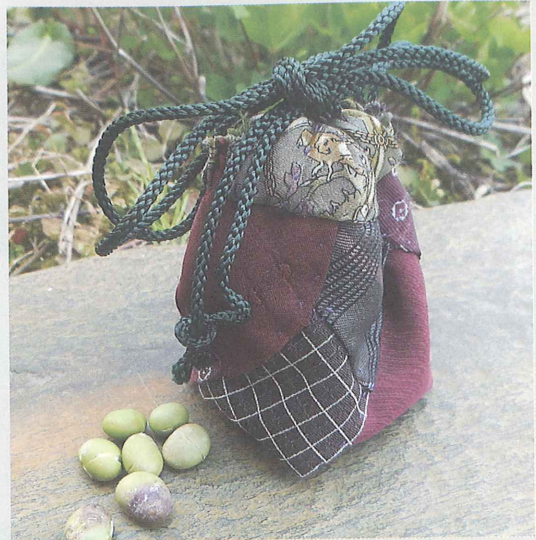
くきたち(タラコ和え)



春、雪国に現れる最初の青物。花茎の伸び出したやわらかな葉物各種を指すこともある。

水洗いしただけの茎を大雑把に切り、すりこぎ棒などで、まな板の上で丁寧に叩くだけ。しんなりしたらタラコを加えて和える。シャキシャキとした歯ざわりと香りが爽やか。

## 再生したモノたち



渡部サクヨさん(87)はこの冬、家族分のお守り袋を作った。様々な柄の端切れは、息子の古いネクタイだ。「長いこと無事に勤められて、ありがたい」。中には炒った青豆が7粒。裏地に「吉日 一生無事 サクヨ87才」と書かれている。ていねいに手縫いされたお守り袋には、家族がマメ(元気)でいるようにとの祈りがこめられている。

※このコーナーの作品を募集しています。(古いものを作り直して再生使用しているモノ)問合せは奥会津書房(0241-52-3580)まで。

## 奥会津の生き物たち ヒヨドリ



灰褐色の中型の鳥。春先から、雪の消えた畑などに群れを成してやってくる。トサカのように見える冠羽が特徴。「ヒーヨ、ヒーヨ」という啼き声が名前の由来ともいわれる。

## クロモジの花



香気を含んだ樹皮は、楊枝や箸として好まれる。枝を編んで作る黒文字垣は茶室の庭などで珍重され、来客時にお湯をかけて香りを漂わせるという。

コップの水に小枝を挿して冷やしても、爽やかな飲み物になる。

## 自然に添った暮らし

写真・文 竹島 善一

五月の節句(旧暦)にあわせて、菖蒲とヨモギの葉を軒先に挿し吊るす。  
菖蒲やヨモギはその強い香りもあって邪気を払う。酒屋でもある家構えは、茅屋根なればこそその風格がある。菖蒲を挿す人の心と、ここで暮らす老婆の後姿も凛としている。

(昭和52年6月 南会津町南郷)



# 方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「かでまんま」 ヒント：P2. 聞き書きをご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、金山町の「マタタビザル」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979  
奥会津書房 宛

●応募締切：2013年6月15日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号75号で発表いたします。



◎73号「たまげた」の答え：「おどろいた」

たくさんのご応募ありがとうございました!

# 読者コーナー



## お便り紹介

- 忘れていた思い出を思い出させてくれる記事がすきです。そして、読んでるとやさしくなれた感じが嬉しいです。(二本松市 N.Hさん)
- ヒロ口で作った蓑に、今は亡き母が、毎年冬の間作って雪の上に広げて雪をかけていた姿がなつかしく思い出されました。(南会津町 B.Tさん)
- 奥会津に住んでいて地元のことかわからない不勉強さを残念に思います。その意味でも、奥会津だよりは勉強になります。(柳津町 T.Eさん)
- 福島市から故郷の会津美里に帰るたびに道の駅で手に入れて読んでます。特に聞き書きコーナーが好きです。当たり前人間の心や生き方に触れて心がホッとします。(福島市 S.Kさん)
- みのを作る父と、筵を織る母を、昨日のこのように思い出されました。私はオサで手伝いました。(さいたま市 K.Kさん)

奥会津だよりの定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

# 奥会津イベント情報

5月中旬～7月中旬

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
5月23日(木)	尾瀬 山開き	檜枝岐村	御池登山口	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
5月25日(土)	御前ヶ岳登山	昭和村	大芦畑小屋登山口	昭和村役場産業建設課 ☎0241-57-2117
	尾白山 山開き	伊南地域	奥会津博物館伊南館集合 7:00	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-76-2517
5月26日(日)	大嵐山・湯ノ倉山 山開き	館岩地域	湯ノ花交流センター前 午前7:00集合	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-78-2546
	志津倉山 山開き	三島町	志津倉山登山口	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
6月2日(日)	御神楽岳 山開き	金山町	御神楽岳	金山町観光協会 ☎0241-54-2311
	蒲生岳 山開き	只見町	蒲生集会施設「雪の里」前集合	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
6月8日(土)・9日(日)	山の幸山菜まつり		塩沢農村公園	
	会津高原たかつえエンデュアロ大会	館岩地域	会津高原たかつえMTBリゾート	会津高原たかつえMTBリゾート ☎0241-78-3099
	第27回ふるさと会津工人まつり		生活工芸館前	三島町生活工芸館 ☎0241-48-5502
6月8日(土)～23日(日)	てわっさの里まつり	三島町	宮下地区	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
	山と木の市場		会津桐炭株式会社社工場内	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
6月8日(土)～23日(日)	第8回 帝釈山・台倉高山「オサバ草祭り」	檜枝岐村	帝釈山・台倉高山	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
6月9日(日)	第25回只見湖岸健康マラソン大会	只見町		只見町教育委員会 ☎0241-82-5320
	尾瀬国立公園田代山 山開き	館岩地域	猿倉山登山口 午前8:00集合	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-78-2546
6月16日(日)	和菓子まつり	柳津町	福満虚空蔵尊圓藏寺境内	柳津町役場地域振興課観光商工班 ☎0241-42-2114
	ひめさゆりの郷ウォーク	南郷地域	南郷スキー場センターハウス前集合 午前8:00	南会津町観光物産協会南郷観光センター ☎0241-72-2112
	南郷ひめさゆりバイクミーティング		南郷スキー場駐車場 午前11:00	
6月22日(土)	七ヶ岳 山開き	館岩地域	たかつえスキー場木工センター前	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-78-2546
	頑張ろうふくしま・みずウオーク2013 赤べこの郷・やないづ大会	柳津町	受付・スタート会場：道の駅「会津柳津」	福島民友新聞社事務局事業部 ☎024-523-1334
6月23日(日)	浅草岳 山開き	只見町	J R只見駅前集合 午前6:00	柳津町役場地域振興課観光商工班 ☎0241-42-2114
	第19回ひめさゆり祭り	南郷地域	道の駅「会津柳津」	柳津町役場地域振興課農林振興班 ☎0241-42-2116
6月26日(水)～6月30日(日)	ひめさゆり早朝撮影		高清水自然公園ひめさゆり群生地前	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
	三ツ岩岳 山開き	伊南地域	高清水自然公園ひめさゆり群生地 毎朝4:30～	南会津町観光物産協会南郷観光センター ☎0241-72-2112
6月30日(日)	木賊溪流釣り大会	館岩地域	三ツ岩岳登山口駐車場集合 6:00	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-76-2517
	第43回会津駒ヶ岳 夏山開き	檜枝岐村	木賊温泉 西根川	南会津西部非出資漁業協同組合館岩支部 ☎0241-78-2110
7月6日(土)	湯ノ花溪流釣り大会	館岩地域	滝沢登山口	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
	第12回燧ヶ岳 夏山開き	檜枝岐村	湯ノ花温泉 湯ノ岐川	南会津西部非出資漁業協同組合館岩支部 ☎0241-78-2110
7月7日(日)	第28回からむし織の里フェア	昭和村	御池登山口	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
			からむし織の里	からむし織の里フェア実行委員会 ☎0241-57-3100

奥会津を巡って、景品GET!!

# 奥会津アドベンチャーキャンペーン

温泉・麺・探検の3つのコースを巡り、奥会津の魅力を感じてください!!

6月1日  
Start!



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)  
発行日：5月15日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525  
http://www.okuaizu.net ☎webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。